

VHF帯域（FM）電波伝搬モニター観測による 地震活動予測観測研究〔地震予報の可能性について〕

————— Update 2005. May —————

～目次～

- ・冒頭文
- ・要旨
- ・FM電波伝搬モニター観測による地殻活動前兆検知について〔簡易まとめ〕
- ・FM電波伝搬モニター観測による前兆検知からの地震推定について〔簡易まとめ〕
- ・FM電波伝搬モニター観測に現れる地震前兆典型例と出現時期〔簡易まとめ〕
- ・良く使用する主な用語簡易解説

本「Update 2005. May」は、

- ・ On a possibility of earthquake forecast by radio observation in the VHF band
————— RIKEN Review No.19 (October, 1998) p.152-160 —————
- ・ POSSIBILITY OF EARTHQUAKE FORECAST BY RADIO OBSERVATION IN THE VHF BAND
—— Journal of Atmospheric Electricity, Vol.22, No.3, pp.239-255, 2002 ——
- ・ Earthquake Forecast by Radio Observation in The VHF Band - 1
- ・ Earthquake Forecast by Radio Observation in The VHF Band - 2
—— Abstract IUGG 2003 (International Union of Geodesy and Geophysics) A.188 ——
- ・ EARTHQUAKE FORECAST BY RADIO OBSERVATION IN THE VHF BAND
—— Abstract MEEMSV-2004 2.8 p.50
(International Workshop on Magnetic, Electric and Electromagnetic Methods in
Seismology and Volcanology) —————

等の論文発表、学会発表資料の他、2005年04月までの観測研究結果内容を極めて簡単にまとめたものであります。従って詳細や詳しい経験則、群発地震活動や火山関連活動等に関する変動及びノイズ等についても省略してあります。尚、本現象は、水平偏波FM放送局電波を利用しており、垂直偏波電波では良好に現象が出現致しません。またセンターチューニング回路出力電圧を記録する際は、①アナログ式チャートレコーダー（ベルコタ）を使用の場合：記録レンジ=20mV程度、記録紙送りスピード=20cm/h程度。②デジタル記録の場合：ADコンバーターの設定を、サンプリング周期=200msec.程度、AD積分時間=約16m or 20msec.（電源周波数による）で記録した場合に、変動時定数=数Hz～数時間の変動として現れる現象についてのみ有効な内容であります。尚、本 Update 2005. May中に記載した見解、経験的近似式、経験的近似値等は、今後の観測研究で修正される可能性がありますことをご了承下さい。